令和４年５月18日

魚沼市議会議長　関　矢　孝　夫　様

総務文教委員会
委員長　森　島　守　人

# 総務文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第 110 条の規定により報告します。

記

１　調査事件名　（１）現地調査
（２）現地調査の総括
（３）その他

２　調査の経過　５月 18 日に委員会を開催し、小千谷市と十日町情報館において現地調査と総括を行った。
その他で、小出地区まちなか再生事業ワークショップの開催について執行部から報告を受け、質疑を行った。

# 総務文教委員会会議録

１　調査事件

**（１）現地調査について**

**・小千谷市役所**

**・十日町情報館**

**（２）現地調査の総括**

**（３）その他**

**・小出地区まちなか再生事業ワークショップの開催について**

２　日　　時　　令和４年５月 18 日　午前９時

３　場　　所　　本庁舎３階　委員会室

４　出席委員　　桑原郁夫、横山正樹、星　直樹、星野みゆき、大平恭児、遠藤徳一、
森島守人、本田　篤、（関矢孝夫議長）

５　欠席委員　　なし

６　説 明 員　　小島総務政策部副部長、五十嵐企画政策課長、青柳生涯学習課長

７　書　　記　　佐藤議会事務局長、星副参事

８　経　　過

開　　会（９：00）

森島委員長　　定足数に達していますので、ただいまから総務文教委員会を開会します。

**（１）現地調査について**

**・小千谷市役所**

**・十日町情報館**

森島委員長　　日程第１、現地調査についてを議題といたします。

本日は、小千谷市及び十日町市の十日町情報館の現地視察となります。本件は、魚沼市生涯学習センター（仮称）建設に係る先進地の施設整備を調査、研究するために、所管委員会として現地調査をするものであります。これから小千谷市と十日町市を現地視察させていただき、調査を行いたいと思います。行く途中に小千谷市防災公園を見学します。まず、現地に出向くにあたり、執行部より何か説明はありませんか。（なし）

それでは、別紙の総務文教委員会行政視察行程表により現地視察を行います。

それでは、これから、しばらくの間休憩します。

休　　憩（９：02）

休憩中に現地調査
（小千谷市役所、十日町情報館）

再　　開（16：00）

森島委員長　　休憩を解き、会議を再開いたします。

**（２）現地調査の総括**

森島委員長　　日程第２、現地調査の総括を議題といたします。委員の皆さんから総括の意見を順次、発言をお願いいたします。

桑原委員　　小千谷市の防災施設から図書館構想を聞かせていただいて、非常に勉強になりましたけども、やはり入り口が違うせいか、出口も違ってくるんじゃないかというところと、ある程度余裕を持って考えて計画したように感じました。これから間に合うようにできるのかというところが非常にあるんですけれども、とにかくすばらしい考えのもとで進めていることが分かってよかったです。十日町市の方は、できたところを見せていただいて非常に機能的なところでした。

横山委員　小千谷市の防災公園について視察したわけでありますが、すごい広い場所で中越大震災の経験を踏まえた形で整備をしていると感じました。それを魚沼市に置き換えたときに、あれだけ大きな公園をどこが必要であるのか、また、山間へき地の周辺部ではどうすればいいのか、等々を考えたときに防災グッズというか、そういうものをきちんと整備する場所が必要かということを感じました。それから小千谷市の図書館構想でありますが、小千谷の文化をそれぞれ集約できるようなワークショップをしっかりやって、これから造るという構想が分かってよかったと思っています。ただ、小千谷総合病院の敷地の面積と、魚沼市の小出庁舎の跡地の面積を考えたときに、その面積に応じて図書館とコミュニティー施設を含めた形でワークショップもしっかり受けとめながら使い勝手のいいようなコンパクトなものにしていくことが大事かと感じました。それから十日町市の図書館については、建設省と新潟県の補助金等々で、もう 20 年過ぎているわけですが、やはりあの当時の図書館というイメージのがっちりとした建物であって、あの当時はすばらしいものだったのだろうと思うのですが、今もすばらしいですが、今のニーズにこれからどう合わせていくかといったときに、まだまだ私たちが学ぶべきところがあるだろうなと感じました。ただ利用者のことを考えたときに、シニア世代が結構使っていることを考えた場合、魚沼市の図書館構想の中に、小出地区の皆さんを含めたシニア層がゆったりと使い勝手のいいものとあわせて、子供たちの学ぶ場、これをどのように構築していくかということになるのか、もう一つはコンピュータールームというか情報室があり、懐かしいと思ったのですが、やはりシニア層の皆さんに、パソコン教室がどこかであるといいのではないかと感じ

ました。

星委員　　小千谷市の図書館構想において、魚沼市と同じような段階を踏んでいる状況だと感じました。人口規模も似ている状況なので、非常に参考になりました。魚沼市より少し先に進んでいるので、今後の動向を注視していきたいと思います。次に、十日町市においてです。ただ、図書館を建設して本を並べるだけでなく、様々な取り組みや事業を行っていることがわかりました。また、職員もどのような人を置くのか重要だと感じました。見学してみて、通路が広いなという印象が強かったです。

大平委員　　まず防災公園ですが、スペースも非常に広い場所が確保され、それぞれ機能をしっかり考えていて、いずれ我が市でもそういうものは箇所数は別として、必要だと感じております。災害時に対応するべき案件の重要な一つだと認識しております。また、そういうものを参考にして、防災公園のようなあるいはそれに類するような機能を強化していくということと、新設であれば、それぞれ近隣市のお手本があるわけですから、それらを参考にしていくべきだと改めて感じました。それから、小千谷市の図書館構想及び市民を交えた議論の様子を聞かせていただいて、非常に大変参考になりました。段階を追って市民の方々と、それから設計者、必要に応じて、関係者の方々と何年にもわたって議論している様子が見てとれて、非常に参考になりました。やはり市民と行政と関係者が一体になって造るということは、非常に大事なことだと感じました。これは、期限を区切ったものではなくて、これから造り上げていく魚沼市の場合でも、期限がある程度制限がある中でも、建設後もしっかりとした図書館を含む複合施設の利用を考えて、将来的な考え方を持って、十分な議論を行う場とか必要に応じて、今回、小千谷市は、大学の方々も入れて今後やるということらしいですが、そういういろいろな世代の声を反映させた施設造りを目指すべきだなと改めて感じました。それから十日町市の情報館については、非常に充実した施設で、私が特に注目したのは学習スペースと閲覧スペースです。十分に広くとってありまして、これは当初からですかと施設長にお聞きした時に、当初からですということで、コンセプトがしっかりしていると思っています。時代にマッチするような考え方も今後必要だとは思いますが、図書館というのは、ある程度余裕を持ったスペースが本当に大事だなと、ゆっくりと閲覧し、そして学習するという環境は非常に大いに参考になりましたし、専門書も非常に多かったです。これは非常に参考になり、郷土資料も各地域で行政で合併したところでも、それぞれの分室、それから情報館でもきちんと両方の側面から資料をそろえておくことで、それもしっかりとした考えがあると感じております。また、大いに参考にしていきながら、この委員会でも大いに議論をしていきたいと思っています。

遠藤委員　　今日は、小千谷市、十日町市と視察をしてきましたが、大変どの自治体も参考になる部分がありました。順次話をしますと、防災公園の方は、何度か見せてもらっているので、特に今後あそこを使った防災的なイベント等を含めて、さらに防災意識の高揚につながるものが今後展開できたら、ますます利用度ですとか、認知度も上がる感じがしています。魚沼市の正式な都市公園型における防災公園がまだないわけですが、しっかりと条例等に盛り込みながら今後企画をしていく必要があると改めて感じました。あと、２番目の解体費については、ただ単純に比べられないですが、あの規模の大きさで金額だけを比べて、このたび継続費になった、旧小出庁舎公民館の解体については、今一度、その金額の見直しなども予算が可決されましたが、今後の参考にしなければならないと、かなり高

い感じがしました。図書館構想といいますか、まちづくりの観点の拠点型スペースというふうに捉えた方がいいのかもしれませんが、市民の拠り所という中で、市民の声の拾い方ですとか、魚沼市の職員がそうでないというわけではありませんが、今日の小千谷市職員の説明を聞いても、設計士が言わぬところの噛み砕きは、はっきり自分の言葉のようになって、私どもに伝えられるという面では、市民のワークショップの時間等もお聞きしましたが、熱量といいますか、中長期の話ではないのですが、合併特例債の期間中だとか、何かそんなことに追われて、決して面で捉えたまちづくりは、今後魚沼市で展開ができないのではと思うほど、考え足らずで一つ一つの建物に着手しているという感じが受けました。特にこの庁舎ができたのを契機に、もう既に面で捉えたまちづくりを設計士等と、話し合う機会や期間があったのに、何もせず単体に出た建物についてどうするかという議論が、これから始まるという非常に残念な考えだという感じが受けました。これから始まるワークショップですので、期待と市民の意見をどう拾うか、行政の皆さんにはしっかりとその時間の持ち方と与えられる資料、そして設計士の意図する部分をはっきりと伝えながら、ワークショップが自分たちのもので、自分たちの身近な課題であるということを認識しながら、魚沼市の核となる面で捉えたまちづくりを展開できる進め方を望みたいと思っています。あと、設計士の選択ですとか、これから空き施設をきちんと廊下の一部のように仕立てていくような面で捉えた考え方については、このリビングラボも継続をしながら、検証も含めて次へつながるワークショップということでありますので、今回のこういったことも次へつなげるための継続的なチーム名をつくったり、いろいろなことで皆さんにやる気を持たせたワークショップに展開していっていただけたらと感じました。十日町市はもう何度か見せていただいております。建築家の意図する部分と市民がそれにマッチした、拠点型がだんだん寄ってきて、形成されつつあると。それに大地の芸術祭という大きな資源等も兼ね合わせながら、それぞれを結びつける取組をしている感じを受けましたので、魚沼市もコンパクト的なことで削減という意味ではなくて広く、いろいろなものが絡み合う面で捉えた考え方に、医療も福祉もまちづくりも展開していくのが、今後大事だとそのような印象を受けました。

本田委員　　まず１点目防災公園についてです。魚沼市も同等のものが欲しいというのが、正直なところであります。一方で、今回視察したことを魚沼市に当てはめると、ハザードマップの危険地域に当たらないところに、こういった防災関係の施設を造るとなると、なかなか土地もないというような悩みもあります。そこで、今回の防災公園はさておき、中間施設的なもの、あるいは一次避難施設的なもの、三角州の中の水屋的な被災を受けることを前提でつくられるような、対応できるそういった防災施設というものも必要なのかなと感じました。２点目であります。解体については、今回の私たち委員会も、やはりコスト面でもう少し削減することはできないかといった気持ちもあって、今回調査をしましたが、今後もまたこの解体のあり方については、行政のやり方も含め研究余地が残っていると感じています。３点目の小千谷市の図書館については、一番の注目は、ワークショップのあり方だと思っています。魚沼市のこれからやるものに比較すると、若干、物足りないというような印象を受けます。魚沼市はこのワークショップが消化作業にならないように、しっかり頑張っていただきたいと思います。４点目の十日町情報館については、委託管理から直営に変わったということなので、少し注目をしているのですが、さしたるデメリット

もないというようなことなので、指定管理のメリットって何なのかという話にもなろうかと思うので、今後のその指定管理のあり方というのは考えた方がいいと思っています。特に施設の老朽化や想定外の支出があって、指定管理だと管理者が大変だというような話の中で、やめていくというような話がありましたが、そこは契約というか、行政側とのコミュニケーションと思っております。一方で、指定管理を受ける側が一団体しかない状況ですが、指定管理については、ソーシャルビジネスとして非常に可能性もありますので、そういったところを助成する施策が必要になるかと感じました。

星野副委員長　　防災公園についてであります。我が市も避難所が足りているわけではないので、通常時は、市民の憩いの場になるような防災公園が必要なのではないかと単純に思ったわけです。次に小千谷市複合施設についてです。皆さんと同じような内容になりますが、小千谷市リビングラボアット小千谷の展開とワークショップの展開を伺い、市内の方々だけでなく、たくさんの方々が行政と一緒になって、いいものをつくり上げているのだと実感しました。ワークショップが１年間あり、１回のワークショップが長時間にもかかわらず、大勢の方々が参加していることに驚きました。行政側は本当に丁寧に進めていることを感じ、これぐらい丁寧に進めていったら、市民の方々からもクレームではないですが、負のような声も上がってこないのではないかと感じました。今後、魚沼市でワークショップが開催されるわけで、ここにある資料を拝見しましたが、開催期間とか委員の人数とか、小千谷市と比べると不安な部分が多く、今日二人の課長さんも一緒に行っていただきましたので、副部長の方からお二人にいろいろお話を聞いていただき、ぜひとも参考にしていただきたいと思いました。情報館の方は、学習スペースやくつろげるスペースが十分ある施設で、やはり市民の拠り所の場となっています。その辺りは、我が市の複合施設にも今後つながればいいと感じました。

森島委員長　　委員の皆さんから総括と感想をいただきました。せっかくの機会なので、行政側も二人参加していますので、生涯学習課長と企画政策課長からもお願いします。

青柳生涯学習課長　　今ほど各委員の皆様から意見が出された通り、小千谷市につきましては、入り口が違うというお話も出ましたが、確かに魚沼市の部分に関しては、そこまで準備が整っていない中でのスタートだったと認識しています。ただ、スタートはさせていただいたので、今ほど各委員から指摘があった、小千谷市のワークショップ等々のやり方を聞かせていただき、今後も勉強させていただきたいと思っています。そこで、合併特例債の終期が決まっているので、どこまでできるかという部分はありますが、造るまでではなく造ってからの運営も大事なところで、そこも小千谷市さんは見据えて進めているので、私どもも取り入れられる部分は取り入れて進めていければと考えています。十日町市さんにつきましては、私も一緒に見させていただいて、図書館の機能の部分と、図書館と貸館の管理の部分を、もう少し深く聞けたらと思いましたが、今後ワークショップの中で、十日町情報館さんにお邪魔する予定になっているので、そこでさらに踏み込んだ話が聞けたらと考えています。ゆったりしたイメージを私も感じましたが、先ほども話がありました通り、面積的な部分は魚沼市の中で、あれだけの広いところが可能かどうかという部分がありますので、コンパクトの中にそういった部分が引き出せるような形のアイデアを出しながら進めていきたいと考えております。

五十嵐企画政策課長　　まず、小千谷市の防災公園ですが、私が行った印象では、日々の草刈

り等の管理が大変だという印象を受けました。その辺の課題をクリアして、あれだけの広い面積を維持できるのかが第１印象であります。次に、小千谷市の図書館ですが、解体費用の話がありましたが、解体については私が担当ではないので、発言を控えさせていただきます。それから、ワークショップの進め方につきましては、規模が 70 人 から 80 人で、さらに公募の方だと思われます。時間も一日かけてやるというような話でしたし、施設の建設から今後のまちづくりまで、ワークショップの終わりは指定していないような話でしたので、その辺我々も今月末からワークショップを開催しますが、参考になるところは大いに参考にしたいと思っています。小千谷市のワークショップといいますか、空き店舗も含めて考えていくという話がありましたが、今回魚沼市の方のワークショップも新施設、それから現図書館も含めて範囲が狭いかもしれませんが、その中で人の行き来ですとか、その辺も含めて考えていきたいです。それから十日町市の方ですが、開館から 20 年以上経過して施設管理で経費がかかっているという話があったので、魚沼市がこれから造る施設も相当長い期間使う施設となるので、メンテナンスにかかる費用をしっかりと抑えた中での計画が必要と感じています。それから、小千谷市の図書館で学習スペースの配置の仕方が参考になりました。

森島委員長　　今ほど、委員の皆さんと行政の皆さんから総括ということで意見をいただきました。当局側は、委員の意見をきちんと受けとめていただき、良いところを真似するような形も必要だと思いますので、この研修が前に進むように、市民のための総合学習センターでありますようにお願いします。このことにつきましては、今後も当委員会として調査を継続することとし、本日は以上としたいと思いますが、よろしいでしょうか。（異議なし）では、そのように決定をいたしました。

**（３）その他**

森島委員長　　日程第３、その他を議題といたします。その他、執行部から報告事項等はありませんか。

小島総務政策部副部長　　今ほども話が少し出ましたが、これから開催予定の小出地区まちなか再生事業に伴います市民ワークショップについて報告いたします。市民ワークショップにつきましては、旧小出庁舎、それから小出公民館の解体後に建設予定の生涯学習センター（仮称）でありますけれども、現小出郷図書館の整備内容、使い方などについて意見を伺うために行うものでありまして、今後、建設及び改修に生かしていくために開催したいと考えております。市民ワークショップの第１回目の開催につきましては、今月 28 日の土曜日、午後２時から予定をしています。その後につきましては、１か月ごとに開催を予定していて、全５回程度の開催予定です。場所は、本庁舎３階の 301 から 303 会議室を使って行う予定です。内容については、生涯学習センター及び現小出郷図書館の機能についてです。委員は、高校生を含む 30 名の方から出席をしていただく予定です。開催の直前での報告となりましたが、よろしくお願いします。

森島委員長　　このことにつきまして、委員の皆さんから質疑あるいは意見がありましたらお願いします。

大平委員　　まず５回ということが示されていますが、これで結論を得て、その後は行わない

という趣旨ですか。それとも一定の期間のめどとして考えているのか、考えをお聞きします。

青柳生涯学習課長　　５回というのは、今年度に基本設計と実施設計の業務を委託しており、基本設計の策定に間に合う形の５回で設定をしております。今ほども申し上げたとおり、小千谷市さんの関係だとか勉強させていただいたので、これはこれで計画をいたしましたが、その後については、今後検討させていただきたいと考えています。

大平委員　　５回についてなんですが、頭を決めてしまうとなかなか議論が中途半端な形で終わらなければいいというのが私の懸念です。その回数に期限があるとしても、柔軟に議論を行い、そして調査ができるように、時間配分は１日１回２時間という形でいくのでしょうか。これは非常にどうかなという部分がありますので、そこは柔軟に対応していただきたいと思うのですが、そこの時間配分、回数についてもう１回伺います。

青柳生涯学習課長　　時間にいては、一応２時間という形で今回のワークショップの委員さんには案内をしているところですが、ここの部分について、内容によっては、１回目以降もどう対応できるか検討していきたいと考えております。回数なんですが、今ほど申し上げたとおり、基本設計を組み上げるのに９月いっぱいくらいに基本設計をあげないと、実施設計に移れないという形の中で、ここまでは意見を集約したいと設計の方と話をしており、設計の方からも話をいただいているので、基本設計の部分のワークショップにつきましては、意見収集、集約は５回とさせていただければと考えております。併せて、今後、設計者の方で案内をしますが、このワークショップは、ワークショップの委員しか意見を入れられないという形になるので、そのほかの市民の皆さんの意見を聞くためにアンケートを予定しています。アンケートは、市報で案内をして、ホームページ等々からアンケートができる形で、あとは、公民館や図書館の方にアンケート用紙を置いて、そちらでもアンケートをしていただける形をとりたいと考えておりますので、ワークショップの委員さんでない方たちの意見の集約もしたいと考えています。また、図書館の現場ですとか、福祉センターの利用者等々につきましても、設計者の方から出向いて意見を聞くという形で集約と収集を考えているところです。

大平委員　　情報館で視察を行うということですが、回数には含まれますか、それとも別ですか。

青柳生涯学習課長　　第２回のワークショップで視察を考えております。

遠藤委員　　ワークショップについては選定された方もいて、準備も進んでいるのでしょうが、ワークショップの前段でその方たちに資料的なこととか、設計士の思惑的な部分とか、事前に情報が入れられるような期間はとっているのでしょうか。それとも、これから 28 日に向けて、前段での資料の配布等はあるのでしょうか。

青柳生涯学習課長　　第１回のワークショップの中で、設計士の意図等々を説明する予定にしておりますので、事前の資料配布等々は今のところ考えておりません。

遠藤委員　　時間が長ければいいとか、回数が多ければいいということではないと思いますが、事前にイメージできることについては、ワークショップの前段でも、委員がしっかりと次のワークショップに向けて意見を持ってこれるような体制をとって、資料等については、早めの提供がいいと感じました。また、今回の中では、設計士は地元に設計事務所を設置して広く市民がそこで模型が見れたり、立ち寄れたりというような話があったので、その

開設時期はいつになっていますか。

青柳生涯学習課長　　そこはまだ本決まりの部分ではないです。現状どこでそういったものが開設できるかを設計者のほうで模索しているところですので、その部分は、まだこちらの方で正確に把握しておりません。

遠藤委員　　これもやはり前段ということであれば、早目にこの地域に入っていただいて、いろいろな飲食店で食事をしたり、いろいろな施設を見に行くとか、公共交通に乗ってみるとか、設計士からも、この地域において、できる範囲でいろいろな体験をしていただきたいと思っています。それによって捉え方や背景、ここから見える景色がいろいろなことでヒントになるので、それも早目にやった方がいいと思います。また、先ほどワークショップの形も委員の進め方や意見によっては、回数等も含めて検討があるということですので、中間ではいいと思いますが、委員以外の方の参入の仕方とか、意見箱を置くとか、意見聴取をするとか、議会を傍聴した帰りに意見をいただくとか、いろいろな形で拾える方法を今後は検討に入れていくことが必要と感じました。委員でなくても、自由に意見が言える場面、声の拾い方、この辺も検討いただけたらと思います。

横山委員　　ワークショップの委員はもう決まりかと思いますので、まだこのまちなか事業に興味関心をお持ちの方が委員になられていなかったり、意見をお持ちの方の意見をどう集約するか。先ほどアンケートという話がありましたので、やはりしっかりとその気持ちを酌み取りながら意見を反映できるところ等々を工夫することが、先ほど小千谷市のワークショップの中で、市民協働として多様な人の意見、プラットホームという言葉も出ていますので、まずそこの土台を行政としてもきちんとやるのだという構えで取り組まないと、ただワークショップはワークショップ、建設は建設というのが、今までどおりの流れにならないように望んでいますのでよろしくお願いします。

本田委員　　各委員に対する構成について、今までの話の流れで、行政側の方から、各団体にお願いしたという形ですが、公募も含めてどのくらいの割合で 30 人中の何対何くらいになっているのか教えてください。

小島総務政策部副部長　　今回は、公募というのはしていませんので、市の方で各団体にお願いして選出いただき、推薦していただいたということになっております。

本田委員　　公募がないのは、少しまずいと思います。多分、公平性に欠けていると思います。やはり、アンケートを取るとか話しをされてますし、委員以外の委員会の後でまた発言するというのもありますが、そもそもプロセスとしてはちょっと違うと思って、もう時計の針は進んでいますし、今ほどの私の発言も参考にして、どういうふうに吸い上げるかは、他の委員も言っていますが、考えていただきたいと思っています。このプロセスは、よくないと思います。

森島委員長　　意見として取り扱わせていただきます。ほかにございませんか。

桑原委員　　ワークショップが長かったり、時間をかければいいと思ってはいませんが、今、本田委員が言われたように、公募がないことについて疑問がありますし、選ばれた方々の考え方が分かっているのかというところもあります。失礼な言い方ですが、そんなに考えがなくてワークショップをするのであれば、変な話、設計士の意図のままに進んで、はいできました、じゃあやりますかというのは、極端には、そういうことだってあり得ると思っています。ですから、本当に議論がいろいろ出て、それを集約できるのでなくて、ない

ものをただまとめるという。本当にそういう意味でも入り口が違ってないかという話に関連しているのですが、いいものをつくろうと思って寝ても覚めても考えている人が、30人の中に何人いるのかというところは非常に感じます。ですからただ、本当に意見を言ってみたいとか、そういう人ではないと思うんですが、そういうきちっとした行政として吟味をして、その人たちの考え方を分かって、それが反映されると思っているのかどうかというところも非常に疑問を持っています。そういうところはしっかりしているのでしょうかというところについて一つ聞いて終わります。

小島総務政策部副部長　　メンバーを見ますと、それぞれの団体から適任ではないかなと思われる方が出ております。しっかりと意見が言えるような方が集まったと考えておりますので、今、委員のおっしゃられたようなことがないように進めていきたいと考えております。

大平委員　　やはり市民の中でも関係する人以外の方でも、図書館を普段利用されて関心の高い方が非常に大勢いらっしゃると思うので、そういう方々がアンケートにお答えいただくということはあると思いますが、議論に参加していただく何らかの方策を考えていくべきだと思いますので、そこは工夫で市民参加型のワークショップを文字どおり柔軟に縦横に闊達に議論ができるような環境を望みますし、委員の方々がおっしゃっているので、そこは十分考えてやっていただきたいと思います。

横山委員　　今の話で委員が決まっていて、それから公募型ではないということは、興味関心のある方が意見が言える場所が少なくなるのであれば、５回のうち３回をこの委員さん方でワークショップをやったけれども、もっと皆さんの意見を聞く会をつくりましょうという方向に持っていきながら、１回は公開型でやるとか、また皆さんが一同に集まって意見が言えるワークショップを１回なり入れていくというような形がとれれば、この期間の中での勝負になるかと思いますので、アイデアとして話をさせていただきます。

森島委員長　　今ほど委員の皆さん方から非常に貴重なご意見、質疑もあったかと思います。経費をかけて市民のためということで、行政の皆様方は大変ですが、今の意見を取り入れながら開かれた図書館構想と言いましょうか、建物を造るようにお願いしたいと思います。そして、副部長にお願いですが、このことを当委員会に報告していただくようにお願いします。このことについては、これで終わらせていただきますが、今後とも協議をお願いしたいと思います。では、委員の皆さんからこのほかに意見、協議事項等がありませんでしょうか。

本田委員　　以前この委員会での要望ということで、視察先に加えて設計士との意見交換会みたいなものを出したと思いますが、ぜひ設計業者さんと委員会と懇談会をさせていただけたらと思いますが、委員長から持ち帰っていただいて、できたらお願いしたいと思っております。

森島委員長　　それについては、私と副委員長と事務局で調整、協議をさせていただきます。しばらくの間休憩といたします。

休　　憩（16：46）

再　　開（16：48）

森島委員長　　休憩を解き、会議を再開いたします。他にございませんか。（なし）なければ本日の会議録の作成については委員長に一任願います。本日の総務文教委員会は、これにて閉会といたします。

閉　　会（16：52）